特別認定（一）～（四）（２単位）

担当者氏名　菊地　哲夫、黒瀧　秀久、長澤　真史、美土路　知之

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

学術論文作成法（一）、（二）のいずれか又は両方の講義を経て、指導教員の指導の下に研究成果を日本語の学術論文にまとめ、審査付き国内学会の学術誌へ論文（単著または筆頭著書）を投稿し、掲載された場合に、専攻内会議に当該論文を提出、論文作成の経過、要点の説明後、妥当性を審査する。最終的に研究科委員会の審議を経て単位として認める。下記内容の授業を受けながら論文を作成し、論文の完成と投稿、受理にいたる過程を経験し論文を発表することを到達目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）　ご自身のキーワードを記入してください

生物産業　　地域活性化　　論文作成　　参考文献

◆授業の進行等について

	テ　ー　マ	内　　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	論文内容決定（第１週）	指導教員との議論から論文内容を立案する	最新の投稿規定を取り寄せること。 該当する分野の最新の論文を毎日検索し１日日１時間論文を読むこと。
2	要約の作製（第２週）	科学的な文章を指導教員の添削を通して学ぶ。	
3	緒言の作製（第３-４週）	論文の主題に沿って、研究の背景と論点を提示する。	
4	図表作製（第５-６週）	結果のまとめ方、統計処理や作図法を学ぶ。	
5	結果（第７-９週）	論理的な文章作成を学ぶ。文章は短く明確に書く。	
6	考察（第10-12週）	適宜文献を引用しながら、具体的に結果を検証する論理的な文章作成を学ぶ。	
7	参考文献と調整（第13）	論文のフォーマットを守ることが最低限のマナー。	
8	投稿・査読者への対応（第14-15週） （第１-15週は、履修者の指導教員が担当する。）	査読者とのやりとりは特に重要である。慎重にコメントを読み、謙虚に論文を見直し、最大の努力をして査読者への返事を書く。必要ならば実験を追加する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）
書名／著者／発行所（発行年）

指導教員から適宜配布される

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等
書名／著者／発行所（発行年）

適宜指示する

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

発表の内容と、発表後の討議により理解度を判断して評価する。

◆オフィスアワー

昼休みに各指導教員の居室を訪ね、不在の場合はメモを残す、メールで質問するなどの対応をする。

◆その他受講上の注意事項

単元毎に文献等を指示するので、講義前に熟読しておくこと。